

日本史(Japanese History)

担当教員名	小野塚 航一	
学科, 科目詳細	建築学科 3年 通年 一般科目 必修科目 2単位 講義	
学習・教育目標	(C)(H)	
科目の概要	本科目では、幕末維新时期以降の日本近代史の流れを政治・経済・社会・文化など多角的な視点から概観します。同時に、現代社会における諸問題、特に歴史認識をめぐる問題に対する思考力を身につけることを目標とします。	
テキスト(参考文献)	笹山晴生他『詳説日本史B』山川出版社 詳説日本史図録編集委員会(編)『山川詳説日本史図録』山川出版社	
履修上の注意	暗記物というイメージがつきまとう歴史学習ですが、授業では様々な出来事の因果関係を理解することに重点を置きます。授業計画は下記の通りですが、若干の前後や変更もあります。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	筆記試験(70%) 提出課題(20%) 授業態度(10%) 60点以上を合格とする。	
連絡先	nzkk1002ya@yahoo.co.jp	

授業の計画・内容	
第1週 ガイダンス・序論(1) - マルクス主義と構造主義における「歴史」 -	
第2週 序論(2) - 新自由主義時代における「歴史」の動員 -	
第3週 日本の近世社会とその動揺	
第4週 開国と明治維新(1)	
第5週 開国と明治維新(2)	
第6週 開国と明治維新(3)	
第7週 自由民権運動の展開	
第8週 中間試験	
第9週 松方財政と立憲制への動き	
第10週 憲法制定と立憲政治の展開	
第11週 条約改正と日清戦争	
第12週 日露戦争と戦後社会	
第13週 社会運動と明治期の文化	
第14週 政党政治の展開(1)	
第15週 第一次世界大戦と日本	
期末試験	
第16週 政党政治の展開(2)と大正期の文化	
第17週 第二次護憲運動と戦後恐慌・金融恐慌	
第18週 昭和恐慌と協調外交の挫折	
第19週 満州事変と五・一五事件	
第20週 日中戦争と戦時統制経済	
第21週 第二次世界大戦と太平洋戦争(1)	
第22週 第二次世界大戦と太平洋戦争(2)	
第23週 中間試験	
第24週 戦後の世界秩序と占領下の日本	
第25週 冷戦の開始と講和	
第26週 55年体制と安保法制	
第27週 高度経済成長期の経済と社会	
第28週 冷戦の終結と日本	
第29週 現代の日本を考える(1)	
第30週 現代の日本を考える(2)	
期末試験	